横浜子ども会議（中学校ブロック会議・港北区交流会）

本年度テーマ　**「いじめをしない、させない、見逃さない**～つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～」

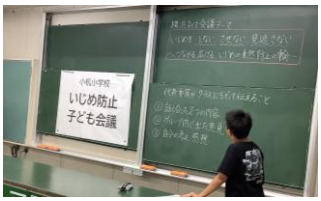
① 中学校ブロック「横浜子ども会議」 7月17日（金）城郷中、城郷小代表児童とオンラインで開催
② 港北区交流会 「横浜子ども会議」 8月28日（金）城郷小机地区センター

本校からは、6年生の代表児童2名が参加しました。本年度は新たな取組として、地域の代表の方にも会にご参加いただき、子どもたちが主体的に話し合う活動を支えていただくとともに子どもたちの姿を価値付けてくださいました。7月の中学校ブロック会議の時間帯は、レベル4の大雨警報が発令され、急遽オンラインで交流することになりました。急な変更や不安定な通信環境にも関わらず、各学校の代表児童生徒たちは笑顔で活発に意見を交換していました。8月の区交流会では、港北区内全ての小中学校の代表児童生徒が集まり闊達な意見が交わされました。参加した代表児童2名は、中学生がリーダーシップをとりながら話合いを進める姿に憧れの思いをもつとともに、みんなが安心して過ごせる学校を自分たちでつくっていこうという思いをもつことができました。

９月代表委員会「小机小学校　いじめ防止子ども会議」

2 回の「横浜子ども会議」を受け、9月2日（水）～4日（金）の代表委員会週間に「小机小学校 いじめ防止子ども会議」を行いました。4～6年生の代表児童が小グループに分かれ、3つの議題について話し合いました。

① どうしていじめはいけないことだと分かっているのになくならないのか
② これっていじめ?いじめでない?どちらともいえない?
③ いじめをしない、させない、見逃さないために自分ができること



参加した児童からは、「同じことでも感じ方は人それぞれ違う。」「いじめをしないだけでなく、どのように行動していくかが大切。」などといった感想が聞かれ、いじめの未然防止や、よりよい人間関係づくりに向けて「自分のこと」「自分たちのこと」として考えることができました。

ＳＯＳサインの出し方に関する教育

子どもたちが自身の心の危機に気付くとともに、身近な信頼できる相手に相談したりSOSを出したりできる力や自己肯定感を育むことを目的とし、夏季休業明けに「SOSの出し方に関する教育」として、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を実施しました。触られたときの自他の感じ方の違いやプライベートゾーンについて考える活動に取り組みました。

なお、横浜市では、「SOSの出し方に関する教育」を、少なくとも年1回実施することになっています。

【3つの基本ルール】



・暴力 NO
・パス OK
・持ち出し禁止
↓
活動中の情報は、
その場限りのこととする

今年の水泳学習をふり返って

今年も安全に水泳学習を終えることができました。初めは、少し冷たい水に体が慣れていなかった子どもたちも、回数を重ねるごとに楽しく参加する様子が見られました。 9月1日（火）の「プール納め」では、6月のプール開きで校長先生から受け取った「安全と上達」の鍵を6年生が返還し、2年生と3年生の代表児童が、今年度の感想や来年度への思いを発表しました。水泳学習が終わった後には、プールの一部改修工事が行われ、新しいシャワーが取り付けられました。来年度も、水に潜ったり、水遊びをしたり、泳いだりする楽しさを、たくさんの子どもたちが実感できるような水泳学習にしていきたいと思います。

お知らせ

後期開始10月13日（火）より、本校の留守番電話時刻を17時といたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、解除時刻はこれまで通り、朝7時30分で変更ありません。